

公民館だより3月号

大詫間の人口(令和5年1月末現在)
1,433人 男 707人 女 726人 530世帯



発行/大詫間公民館

〒840-2211
佐賀市川副町大字大詫間 560 番地 1
電話・FAX 0952-45-4480
Email koodakuma@city.saga.lg.jp

大詫間 絆ウォーク



まち協暮らし絆部会・公民館主催

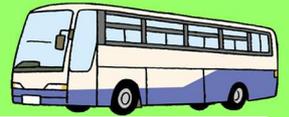
昨年大好評だった「絆ウォーク」を今年も開催します。地域の皆さんと一緒に景色を楽しみながら歩いてみませんか？コースは2種類あるので、ご自分のペースで無理なく歩けます。

※雨天の場合は25日(土)に延期します
※感染症の拡大状況により変更する場合があります

開催日 3月18日(土) 10:00~12:00
場所 大詫間公民館に集合 9:30~受付
3キロコースと7キロコースあり
参加費 無料(昼食と参加賞あり)
申込先 大詫間公民館にご連絡ください

シルバーパス券販売

パス券のご利用で1乗車につき100円で乗車できます。パス券購入の個人負担額は市営バス1,000円です。
※昭和バス分はバスセンターで販売いたします



開催日 3月6日(月)13:30~16:00
場所 大詫間公民館 和室
対象者 市内在住70歳以上の希望者

まだ間に合います!

まち協健康福祉部会・公民館共催

健康づくり栄養講座

日時 ●第1回 3月7日(火)10:00~11:30
●第2回 3月14日(火)10:00~11:30
場所 大会議室 **参加費** 無料

3月予定表

※予定は変更・中止する場合があります

日	月	火	水	木	金	土
		ブーカス号 14:00~14:50 	1 まち協本部役員会 ももの会	2	3 健康麻雀	4 さつき会
5	6 元気アップ教室 シルバーパス券 販売	7 にこにこ運動教室 健康づくり栄養 講座①	8 GB 愛好会 つばき会 七夕会	9 ときわ会	10 自治会長会 健康麻雀 中学校卒業式	11 ブーカス号 15:10~16:00
12	13 GG 役員会 元気アップ教室	14 にこにこ運動教室 健康づくり栄養 講座②	15 GG 愛好会 ゆりの会 松枝神社 御粥開神事	16	17 健康麻雀 小学校卒業式	18 大詫間食改協 絆ウォーク
19 【休館日】	20 元気アップ教室	21 【春分の日】 にこにこ運動教室	22 つばき会	23	24 健康麻雀	25 絆ウォーク予備日
26	27 元気アップ教室	28 にこにこ運動教室 社協役員会 健康福祉部会	29	30	31 健康麻雀	

第26回 私と大詫間

～大詫間への想い 思い出等について～



地域の方から大詫間への想いや小さい頃の思い出などをお寄せいただく『私と大詫間』シリーズです。



第26回目は…
山口 徳雄 さん
(7区)

小学生の頃

毎年、夏休みになると大人の人たちが大きい堀に竹で編んだプールを作ってくれました。そのプールで毎日思い切り遊び、泳いだ帰りは必ずき氷を食べていました。今と違って、道路は舗装されておらず、でこぼこ、真ん中に石が続いていて、泳いだ帰りは裸足なので、その石を歩くのがとても熱かったことを憶えています。

現在の新興搦がまだ海であったころ、竹藪の堤防を乗り越えて、海岸に降り、柔らかない干潟に入ると、腰までズボーンと沈み込んで身動きがとれません。そうこうしながらも、ほんのちょっとずつ前進しながらワラスボかきで潟の中をかいてると何匹か掛ってきます。稲わらで編んだ縄みたいな姿は、よく「ワラスボ」と名づけたものです。ほかに、カニもとって買い取ってもらい、お小遣いにしていました。

小学校高学年になり、早津江川で魚釣りをはじめ、悪戦苦闘しながら「腕ウナギ」を獲って大喜びしました。そして、父の手ほどきを受けながらまな板の上にキリで頭を刺し、背開きをしてかば焼きにしました。その美味さは、今でも忘れません。

夏休みの頃になると魚はあまり釣れなくなります。中学生になると、釣り竿はほったらかしにして、早津江川で泳いでいたことを記憶しています。川の真ん中に洲があり、足がついてからシジミを取っていました。流れの速い川で泳ぐことは、危険極まりなく、今では考えられませんが、私たち子どもにとっては、生き物がいっぱい生息する楽しい遊び場でした。

まちづくり協議会の発足時から活動に参加していますが、小学生と遊ぶ機会があります。子どもの頃の体験は、成長の糧となります。特に自然体験がたくさんできたらと思います。昔のような体験ができるといいですね。

有田雛のやきものまつり 2/16 公民館主催 成人学級 第10回

今年度最後の成人学級は、「さがを知る現地研修 有田雛のやきものまつり」を開催し、珍しいお雛様や素晴らしい有田焼の作品などを鑑賞しました。参加者同士交流を深めながら佐賀の魅力を再発見できた研修でした。



市税の納付は、あんしん・確実な 口座振替がおすすめです！

〈口座振替ができる市税〉 市県民税(普通徴収)、固定資産税・都市計画税、軽自動車税(種別割)〈受付窓口〉 預貯金口座のある市内の金融機関、市役所納税課(本庁3階)

〈必要なもの〉 預貯金通帳、通帳の届出印、通知書番号がわかるもの(納税通知書等)

【問い合わせ】 佐賀市役所 納税課 収納係
TEL 40-7075 FAX 25-5408



館長コラム

コロナが出現してから早や3年、この間、マスクは必須になり、枚数で1千枚以上、箱数にして20箱以上使ったこととなります。家にはまだ十分在庫がありますが、この度、そのマスク着用の考えが見直され、3月13日から屋外、屋内を問わず個人の判断に任せることになるようです。学校では混乱を避けるため新年度4月1日から適用するようですが、その前の卒業式はマスクなしで行われるみたいです。

3月13日からマスクをする、しないが個人の自由になって、実際、皆さん一斉にマスク無しになるでしょうか。街の声は、「マスクは外す」という人がいる一方で、「3年間のマスク生活で、マスクを外して顔を見せることに不安がある」という声もあるそうです。自分として、マスクは少々窮屈ですが、感染症防止ということから、季節や状況に応じたマスク着用を心がけたいと思います。

いずれにしても、本人の意思に反してマスクの着脱を強いることなど無いよう、あくまで個人の判断が尊重され、差別や偏見の無い社会であって欲しいと思います。ただし、病院、高齢者施設、混雑した電車やバスなど、また、自身が風邪の症状がある時は、マスクを着ける配慮が必要ではないでしょうか。自分を感染症から守るためだけでなく、他の人を感染させず、不安にさせないためにもです。